



手指消毒に使える製品を製造

渡辺酒造店が取り組み

飛騨市に240本を寄贈

古川町壺之町の有限会社渡辺酒造店(渡邊久憲代表取締役社長)がこのほど、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、消毒用アルコールの代替品として手指消毒や除菌に使える原料用アルコール「渡辺77」Ⅱ右下写真Ⅱの製造を始めた。

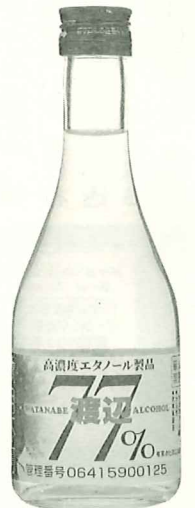
厚生労働省が、従来市販されてきたエタノール消毒液の商品が感染拡大の影響で品薄になり、各所で不足している現状を受け、酒造会社などが製造する高濃度のアルコールを手

指消毒などに使用できる特例を認めたとから、同社も製造を決意。四月下旬に申請を行い、十

二日から製造を始めた。清酒をつくる際に用いる醸造用アルコールに仕込み水を加えるなどし、度数を九〇パーセント以上から消毒用アルコールと同等の七パーセントに薄めて製造するという。設備などの関係から同社が一日に製造できるのは八十リットルまでで、一週間あたり約千本が限度。今回の商品には酒税が課せられないこととなったため、三百ミリリットル当たりの酒税二百三十一円が免税され、税別六百六十四円で販売する。

十四日には渡邊社長が飛騨市役所を訪れ、都竹淳也市長に同製品二百四十本分の目録を手渡したⅡ上写真。

都竹市長は「医療や福祉機関などで消毒液は不足している。緊急



事態宣言が解除され、ここからが大事な局面。感染対策に特に重要な物をいただき、ありがたい」と謝辞を述べた。渡邊社長は「手指や

医療機関の消毒に使える高純度で質の良い商品。医療機関と自治体へ真っ先にお届けしたい」「感染予防に役立てるよう明るい話題を届けたい」と話している。

二十二日から地元のホテルやスーパー、薬局などで販売する。同店の店頭での販売はし

ない。申し込み専用0120・359・352やファクス0120・359・308、通販サイト<https://www.watanabeshuzouten.com/fs/watanabeshuzou/gd546>などからも購入できる。問い合わせは同店0577・73・3311へ。